

教員調書

信州大学人文学部

履 歴 書			
フリガナ	シン シ ュ ウ タ ロ ウ	性別	
氏 名	信 州 太 郎	男	
生 年 月 日 (年 齢)	(元号) 年 月 日 (満 歳)		
本 籍 地 又 は 国 籍	長 野 県		
現 住 所	松本市旭 3 - 1 - 1 ○ ○住宅A - ×号 Tel026-○○○-△△△△ e-mail×××.ac.jp		
(写真貼付縦45mm横35mm)			
学 歴			
年 月	事 項		
昭和××年×月 昭和××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月	○○大学○○学部○○学科卒業(○○学士) ○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程修了(○○修士) ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(博士後期課程)単位取得満期退学 アメリカ○○○○○○大学留学(フルブライト留学生)(昭和××年××月迄) ※学生時代の留学は学歴、教員の留学は職歴に記入します ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(博士後期課程)修了(○○博士)(○○大学・甲・××号)		
職 歴			
年 月	事 項		
平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月	○○大学助手(昭和××年×月迄) ○○大学研究生(昭和××年×月迄) ※学歴ではありません ○○大学聴講生(昭和××年×月迄) ※学歴ではありません 株式会社○○○経理部経理課長(平成××年×月迄) 無職(平成××年×月迄) ※空白期間を作らないでください ○○大学○○学部助教授(平成××年×月迄) ○○大学○○学部教授(現在に至る)		
学会及び社会における活動等			
年 月	事 項		
昭和××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月	日本○○学会会員(現在に至る) ※過去から現在の順に記入してください ○○学会会員(現在に至る) 日本○○学会理事(平成××年×月迄) ○○県○○○審議会委員(現在に至る) 平成×年度文部科学省補助金(基盤研究C2)「○○○○○○○○○○の研究」(課題番号:××××××)に基づく研究を研究代表者として実施 ○○大学○○学部非常勤講師(平成××年×月迄) ※職歴にいけないでください		

賞 罰								
年 月	事 項							
平成××年×月 平成××年×月	第××回日本〇〇学会賞（日本〇〇学会） 第××会〇〇大賞（〇〇〇〇）							
勤 務 の 状 況								
勤 務 先	職 名	学部、学科等（所属部局）の名称	担当授業科目	毎週担当授業時間数				備 考
				専任	兼担	兼任	計	
〇 〇 大 学	教授	全学教育機構（共通教育）	〇〇〇〇を読む	2			2	前期
		人文学部 〇 〇 学 科	〇〇〇〇演習	4			4	通年
			〇〇〇〇概論	2			2	後期
			〇〇〇〇実習	1			1	通年
		人文科学研究科 〇 〇 専 攻	〇〇〇〇特別研究IA	4			4	通年
			〇〇〇〇特別演習IB	1			1	通年
			日本〇〇特論	2			2	前期
※「専任」、「兼担」及び「兼任」の区分は、「専任」の欄には所属する大学等の所属する学科等の授業を、「兼担」の欄には所属する大学等の所属しない学科等の授業を、「兼任」の欄には所属する大学等以外の授業を記入してください。 上記のとおり相違ありません。 （元号） 年 月 日 （氏名の㊤は、本人の自署をもって代えることができます。） 氏 名 信 州 太 郎 ㊤								

教 育 研 究 業 績 書

(元号) 年 月 日

(氏名のⒺは、本人の自署をもって代えることができます。)

氏 名 信 州 太 郎 Ⓔ

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 1. ○○○○を読む 2. ○○○○演習 3. ○○○○特別研究ⅠA 4. 授業外における学習促進の試み	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～	○○大学高等教育システム開発センターの講義。○○○○○○〔講義内容200字程度〕 ○○大学○○学部の専門授業。演習形式。〔講義内容200字程度〕 ○○大学大学院○○科学研究科修士課程○ ○専攻の演習形式の専門授業。〔講義内容200字程度〕 〔ゼミ合宿、フィールドワーク、オフィスアワー、e-Learning、BlackBoard、マルチメディアの利用、ウェブサイトの開設や利用、ピュアレビュー、レジュメの工夫を自由に記述〕
2 作成した教科書、教材 1. 『○○○○○○の研究』 2. 『○○○の記憶と記録』	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～	※著書との重複可です。 平成××年度○○学部開講「○○○○演習」の教科書として指定。再掲著書1参照。 平成××年度・○○学部1年次必修科目「○○○○概論」の指定教科書として使用。再掲著書2参照
3 その他 1. 外国人研究者への研究支援等 2. 海外における講演 3. 市民開放授業 4. ○○○ラジオ「○○○○学」講師	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～	※ここには大学における組織・団体としておこなった職務を記述してください〔概要60字程度〕 〔概要60字程度〕 〔概要60字程度〕 〔概要60字程度〕
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 1. 中学校教諭一級普通免許（社会・長野・昭××中一普第××××号） 2. 高等学校教諭一級普通免許（国語・長野・昭××高一普第××××号）	昭和××年 ××月～ 昭和××年 ××月～	
2 特許等 な し		
3 その他		

1. ○○学部○○委員会委員		平成××年 ××月～ 平成××年 ××月	〔概要60字程度〕	
2. ○○学部○○委員会委員長		平成××年 ××月～ 平成××年 ××月	〔概要60字程度〕	
著書，学術論文等の名称 当該分野の論文・著作	単著， 共 著 の 別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
※過去から現在へと記述し、冒頭にNo.を付けてください ・ 論文の場合は，自身が執筆したページを明記してください。 ・ 共著書・共同執筆論文については，全ての共著者名・共同執筆者名を省略せずに明記してください。 ・ 近日中に刊行することが明確になっている著書（全ての原稿が出版社に渡り，出版社が刊行を約束したもの）又は論文（編集者が最終原稿として受け付けたもの）については，業績に含めて構いません。				
（著書） 1. ○○○○○	単著	平成××年 ××月	○○出版	P260 〔概要200字程度〕
2. ○○○○○	共著	平成××年 ××月	○○大学出版会	信濃次郎編。共著者：〔執筆順に全員〕。第○章「○○○○」（pp×～×）を分担執筆。〔概要200字程度〕
（学術論文） 1. ○○○論について	単著	平成××年 ××月	日本○○研究第 ×巻第×号pp× ～×	〔概要200字程度〕
2. ○○○に関する研究	単著	平成××年 ××月	○○大学○○学 部紀要第×号pp ×～×	〔概要200字程度〕
（その他） 書評 1. ○○○著『○○○○』	単著	平成××年× ××月	○○新聞日曜版 ×月×日	〔概要200字程度〕
辞典・事典類 1. ○○○学研究事典	共著	平成××年 ××月	○○出版	○○○，○○○の項目を担当執筆 〔概要200字程度〕
シンポジウム・座談会 1. 座談会○○○○につ いて語る	単著	平成××年 ××月	○○○雑誌第× 号pp×～×	○○大学教授○○○○との対談 〔概要200字程度〕
その他 1. 校注○○○○	共著	平成××年 ××月	○○○○○	第×章○○○についての校訂と注 釈。〔概要200字程度〕
学位論文 1. ○○時代の○○○に 関する基礎的研究	単著	平成××年 ××月	○○大学	博士（○○）・乙・第×××号〔概 要200字程度〕
著書：○○編，学術論文：○○編，その他：○○編，学位論文：○○編				